

かんたん接続ガイド Rev.1.0

●ご使用前に、「ご利用にあたっての注意事項」をよくお読みの上、正しくお使いください。

このたびは、無線LAN対応 G-EPON ONU「BFW6022-BAL」(以下、本製品)をご使用いただきましてありがとうございます。
本紙では、ご利用のネットワーク機器(パソコン、スマートフォンなどの携帯端末、ゲーム機など)との接続のしかたについて説明しています。
接続方法およびご利用のネットワーク機器のOSなどにより操作が異なりますので、ご利用のネットワーク機器に合わせて、各操作説明を参照ください。

●無線LANで接続

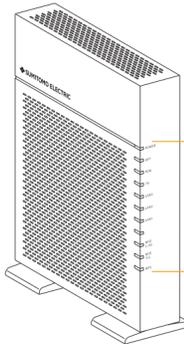
- パソコン ▶ **A** パソコンと本製品を無線LANで接続する **表面**
- スマートフォンなどの携帯端末 ▶ **B** スマートフォンなどの携帯端末と本製品を無線LANで接続する **裏面**
- QRコードを利用 ▶ **C** QRコードを利用してスマートフォンなどの携帯端末と本製品を無線LANで接続する **裏面**
- WEP認証の機器 ▶ **D** WEP認証でネットワーク機器と本製品を無線LANで接続する **裏面**
- その他の機器 ▶ **E** その他の機器と本製品を無線LANで接続する **裏面**
- 有線LANで接続 ▶ **F** IP電話やパソコンなどを本製品と有線LANで接続する **裏面**

箱の中身を確認してください

以下のものを受け取られたかご確認ください。万一、不足しているものや破損しているものがありましたら、ご契約されたケーブルテレビ事業者へご連絡ください。
・BFW6022-BAL本体……………1台 ・シリアルナンバーラベル(4枚つづり)……………1枚
・ACアダプタ……………1台 ・ファイバークーパー用ネジ(特殊ネジ、黒または銀色)……………1本
・かんたん接続ガイド(本書)……………1枚 ・ファイバークーパー用ネジ(特殊ネジ、金色)……………1本
・ご利用にあたっての注意事項……………1冊
※同梱品はケーブルテレビ事業者によって異なる場合があります。

各部の名称

■前面



LEDランプ
動作状態を表示します。下記の「LEDランプ表示について」を参照してください。

■LEDランプ表示について

本製品の前面には、インジケータとして10種類の状態表示ランプ(LED)がついています。各ランプ(LED)の意味は下表の通りです。

名称	状態(色)	意味
POWER [パワー]	点灯(緑)	ACアダプタから電力が供給され、正常に動作しているとき
	点滅(緑)	IPアドレスを取得している、またはファームウェアをアップデートしているとき
	消灯	ACアダプタから電力が供給されていないとき
OPT [オプト]	点灯(緑)	光ファイバーから信号を正常に受信しているとき
	点灯(赤)	光ファイバーから信号を正常に受信していないとき
	点灯(緑)	光ネットワークが正常に動作しているとき
PON [ポン]	点滅(緑)	光ネットワークが準備中のとき
	点灯(赤)	光ファイバーから信号を正常に受信していないとき
	消灯	IP電話アダプタが接続されていないとき
TA [ディーエー]	点灯(緑)	IP電話アダプタが接続されているとき
	点滅(緑)	IP電話アダプタが通信しているとき
	消灯	IP電話アダプタが接続されていないとき
LAN1~3 [ラン1~3]	点灯(点滅)緑	ネットワーク機器と有線LANで接続されているとき
	消灯	ネットワーク機器と有線LANで接続されていないか、ネットワーク機器側で通信の準備ができていないとき
	消灯	無線LAN(2.4GHz帯:IEEE802.11n/g/b)が使用可能なとき
WiFi 2.4G [ワイファイ2.4ジー]	点灯(緑)	無線LAN(2.4GHz帯:IEEE802.11n/g/b)が通信しているとき
	点滅(緑)	無線LAN(2.4GHz帯:IEEE802.11n/g/b)が使用できないとき
	消灯	無線LAN(2.4GHz帯:IEEE802.11n/g/b)が使用できないとき
WiFi 5G [ワイファイ5ジー]	点灯(緑)	無線LAN(5GHz帯:IEEE802.11n/a/ac)が使用可能なとき
	点滅(緑)	無線LAN(5GHz帯:IEEE802.11n/a/ac)が通信しているとき
	消灯	無線LAN(5GHz帯:IEEE802.11n/a/ac)が使用できないとき
WPS [ダブルピーエス]	点灯(緑)	WPS機能が使用可能なとき
	点滅(緑)	WPS機能を使用して無線LAN機器の登録を試みているとき
	消灯	WPS機能が使用できないとき

■背面

WPSボタン

3秒以上押し続けて離すと、WPS機能で接続を試みます。

RESETボタン

本製品を再起動します。6秒以上押し続けると工場出荷状態(初期化)に戻ります。◀「工場出荷時設定と初期化について」(裏面)

TAポート【電話用】

IP電話アダプタなどを接続します。

LANポート1~3

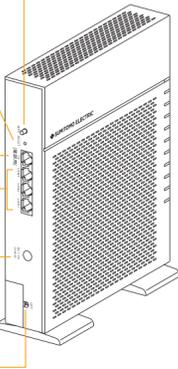
ネットワーク機器との有線LAN接続に使用します。

電源ポート(DC12V)

付属のACアダプタを接続します。
※付属のACアダプタ以外は接続しないでください。

光ファイバー導入口

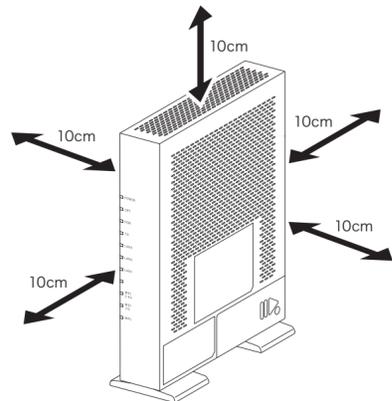
光ファイバーコードを装置内に引き込みます。



本製品を設置する

本製品は縦置き専用です。過熱を避けるために、設置面以外は少なくとも10cm以上の空間を作るようにしてください。また空間を作った場合でも、本製品全体を覆うような形での設置はおやめください。横置きや壁掛け設置によるご使用は避けてください。

その他設置についての注意事項は、「ご利用にあたっての注意事項」を参照してください。



ご使用方法

使用方法や接続についてケーブルテレビ事業者からの指示がある場合には、それに従ってください。

本製品に光ケーブルが接続されている状態でACアダプタを本製品に接続してください。そのあと電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

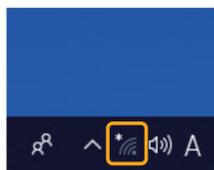
本製品は、電源が入ると自動的にケーブルテレビ事業者から必要な設定をダウンロードして、お客様のパソコンなどがネットワークに接続できる状態になります。

本製品の電源を切る場合は、必ず先に電源プラグを電源コンセントから抜いてください。また、本製品の電源を再投入する場合、必ず電源を切った状態で10秒以上おいてから電源を入れ直してください。

A パソコンと本製品を無線LANで接続する (パソコン搭載のOSに応じた操作を行ってください)

Windows 10の場合

1 タスクトレイ(デスクトップ右下)の「ネットワーク」アイコンをタップまたはクリックします。



※「ネットワーク」アイコンは、A[隠れているインジケータを表示します]ボタンの中に隠れている場合があります。

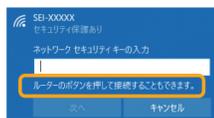
2 表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続するネットワークSSIDを選択し、「接続」をタップまたはクリックします。
本製品のネットワークSSIDは、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



※お客様でネットワークSSIDを設定された場合は、設定内容をご確認ください。

3 ネットワークセキュリティキーを入力する画面が表示されます。その際、本製品の「WPSボタン」を押して接続する方法(4-A)と、セキュリティキーを入力する方法(4-B)と2種類あります。

4-A 表示された画面に「ルーターのボタンを押して接続することもできます。」の記述があれば、この状態で、本製品の「WPSボタン」を押すことで接続することができます。
WPSボタンを3秒以上押し続け、その後、ボタンから指を離すとWPS機能が動作します。WPS動作中は、本製品前面の「WPS」ランプが点滅します。

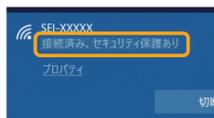


4-B 本製品の側面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「次へ」をタップまたはクリックします。



※PASSKEYの入力では、大文字・小文字にご注意ください。
※お客様でPASSKEYを設定された場合は、設定内容が反映されます。

5 ネットワークSSIDに、「接続済み」と表示されていれば接続完了です。



Windows 8.1の場合

1 スタート画面の右端から内側にスワイプし、「設定」をタップします。マウスを使用している場合は、画面の右隅をポイントし、「設定」をクリックします。
次に、「ネットワーク」アイコンをタップまたはクリックします。



2 表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続するネットワークSSIDを選択し、「接続」をタップまたはクリックします。
本製品のネットワークSSIDは、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



※お客様でネットワークSSIDを設定された場合は、設定内容をご確認ください。

3 ネットワークセキュリティキーを入力する画面が表示されます。その際、本製品の「WPSボタン」を押して接続する方法(4-A)と、セキュリティキーを入力する方法(4-B)と2種類あります。

4-A 表示された画面に「ルーターのボタンを押しても接続できます。」の記述があれば、この状態で、本製品の「WPSボタン」を押すことで接続することができます。
WPSボタンを3秒以上押し続け、その後、ボタンから指を離すとWPS機能が動作します。WPS動作中は、本製品前面の「WPS」ランプが点滅します。



4-B 本製品の側面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「次へ」をタップまたはクリックします。



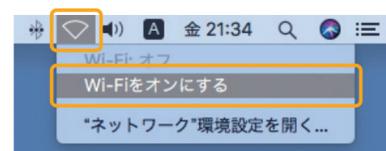
※PASSKEYの入力では、大文字・小文字にご注意ください。
※お客様でPASSKEYを設定された場合は、設定内容が反映されます。

5 プリンターやTVなどを自動的に接続する場合は、「はい」をタップまたはクリックします。
ネットワークSSIDに、「接続済み」と表示されていれば接続完了です。

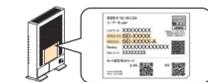


macOS/Mac OSの場合

1 デスクトップ右上の「無線」アイコンをクリックし、「Wi-Fiをオンにする」をクリックして、無線LANを有効にします。

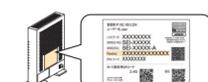


2 デスクトップ右上の「無線」アイコンをクリックし、表示されたワイヤレスネットワークのリストから、接続するネットワークSSIDをクリックします。
本製品のネットワークSSIDは、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



※お客様でネットワークSSIDを設定された場合は、設定内容をご確認ください。

3 パスワードを入力する画面が表示されます。本製品の側面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して、「このネットワークを記憶」にチェックが入った状態で「接続」をクリックします。



※PASSKEYの入力では、大文字・小文字にご注意ください。
※お客様でPASSKEYを設定された場合は、設定内容が反映されます。

4 デスクトップ右上の「無線」アイコンをクリックし、SSIDの前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。



※端末のOSバージョンにより画面が多少異なる場合があります。

B スマートフォンなどの携帯端末と本製品を無線LANで接続する

iPad/iPhoneの場合

1 画面上の「設定」アイコンをタップします。



2 設定項目の「Wi-Fi」をタップして、ワイヤレスネットワークを選択する一覧から、接続するネットワークSSIDをタップします。本製品のネットワークSSIDは、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



※「Wi-Fi」がOFF(オフ)の場合は、ON(オン)にしてください。
※お客様でネットワークSSIDを設定された場合は、設定内容をご確認ください。

3 パスワードを入力する画面が表示されます。本製品の側面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「接続」または「Join」をタップします。



※PASSKEYの入力では、大文字・小文字にご注意ください。
※お客様でPASSKEYを設定された場合は、設定内容が反映されます。

4 SSIDの前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。



※SSIDの右にある① ボタンをタップするとアドレスの取得内容が確認できます。

C QRコードを利用してスマートフォンなどの携帯端末と本製品を無線LANで接続する

iPad/iPhoneの場合

1 iOS/iPadOS端末のカメラを起動し、カメラビュー画面で、本製品の側面にあるラベルから「Wi-Fi設定用QRコード」を読み取ります。



2 ポップアップされた確認画面で「接続」または「Join」をタップします。

3 設定項目の「Wi-Fi」をタップしてSSIDの前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。本製品のネットワークSSIDは、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。

Android端末の場合

1 画面上の「設定」アイコンをタップします。



2 「無線とネットワーク」をタップします。



3 次に「Wi-Fi」をタップして、表示されたワイヤレスネットワークの一覧から、接続するネットワークSSIDをタップします。本製品のネットワークSSIDは、本製品の側面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



※「Wi-Fi」がOFF(オフ)の場合は、ON(オン)にしてください。

4 パスワードを入力する画面が表示されます。本製品の側面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「接続」をタップします。



※PASSKEYの入力では、大文字・小文字にご注意ください。
※お客様でPASSKEYを設定された場合は、設定内容が反映されます。

5 SSIDの下に「接続済み」と表示されていれば接続完了です。



※「SSID」をタップすると接続状況の詳細が確認できます。
※端末のOSバージョン、発売メーカーにより画面が多少異なる場合があります。

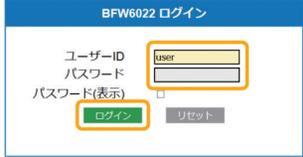
D WEP認証でネットワーク機器と本製品を無線LANで接続する

接続する機器の無線認証がWEP方式のみに対応している場合(ニンテンドーDS/DS Liteなど)、本製品に別途WEPの設定が必要になります。以下の手順では、新たに有効にした2.4GHz帯のSSID セカンダリ1に設定する手順を説明しています。(本製品の工場出荷状態は、WEP認証が無効になっています。)

1 本製品とパソコンを有線LANで接続した状態で、Microsoft EdgeなどのWebブラウザを起動して、Webブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」(本製品の管理用IPアドレス)を入力し、キーボードのENTERキーまたはWebブラウザのアクセスボタンをクリックします。



2 BFW6022 ログイン画面が表示されます。ユーザーID入力欄に「user」を、パスワード入力欄に本製品の側面にあるラベルに記載されている「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。



※お客様でユーザーIDとパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。
※「ユーザーID」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の側面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。



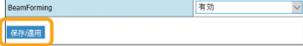
3 表示された設定画面の上側メニュー「ネットワーク」をクリックします。



4 表示された設定画面の左側メニュー「無線LAN」-「2.4GHz基本設定」をクリックします。

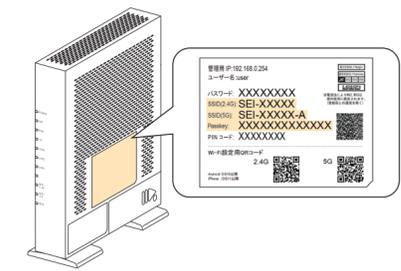


5 SSID セカンダリ1 (SEI-XXXX-2) で「有効」を選択し、「保存/適用」をクリックします。



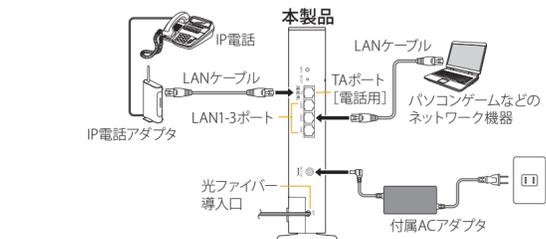
E その他の機器と本製品を無線LANで接続する

本製品の側面ラベルにある「SSID」、「PASSKEY」を確認してください。(お客様で設定された場合は、設定後の値が有効になります) 詳細な接続方法については、接続するネットワーク機器の取扱説明書に従ってください。



F IP電話やパソコンなどを本製品と有線LANで接続する

IP電話などをTAポートに、パソコン/ゲームなどのネットワーク機器をLAN1~3ポートに接続します。



- LAN1~3およびTAポートに接続するLANケーブルはカテゴリ5e以上をご使用ください。
- 接続するネットワーク機器は、IPアドレス、DNSサーバーアドレスを自動(DHCP)で取得するように設定してください。

仕様		
I/F仕様	有線LAN側	LAN1~3ポート:10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T(RJ45) オートネゴシエーション TAポート:10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T(RJ45) オートネゴシエーション
	無線LAN側	IEEE802.11n/IEEE802.11g/IEEE802.11b 2.4GHz~2.484GHz(1~13ch) IEEE802.11n/IEEE802.11a/IEEE802.11ac W52:5.15GHz~5.25GHz(36/40/44/48ch) W53:5.25GHz~5.35GHz(52/56/60/64ch) W56:5.47GHz~5.725GHz (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch)
機器仕様	電源入力	本体:DC 12V 2.5A (ACアダプタにて供給) ACアダプタ:AC 100V (50Hz/60Hz)
	消費電力	20W以下
	外形寸法	約184(W)×65(D)×231(H)mm
	質量	約650g (ACアダプタ含まず)
環境条件	動作周囲温度/湿度:0~40℃/5~95%(結露なきこと) 保管温度/湿度:-20~70℃/5~95%(結露なきこと)	

無線LANでの接続に失敗する場合

- 接続するネットワーク機器に無線LANスイッチがある場合は、スイッチをONにしてください。OFFになっていると無線LANで接続できない場合があります。詳細は接続するネットワーク機器の取扱説明書などでご確認ください。
- 無線LANの「SSID」や「PASSKEY」の設定が、本製品と接続するネットワーク機器と同じであるか確認してください。半角英数記号を使用し、大文字・小文字を区別します。一致していないために接続できない場合があります。詳細は接続するネットワーク機器の取扱説明書などでご確認ください。
- 接続するパソコンがIPアドレスとDNSサーバーのアドレスを自動で取得する(DHCP)設定になっているか確認してください。詳細な確認方法はパソコンOSのヘルプなどを参照してください。(例:Windowsの場合、[スタート]-[ヘルプとサポート]をクリック)
- 電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮断された部屋などでは、無線LANの電波が届かなくなったり、通信切断や速度低下などの不安定な状態になったりする場合があります。場所を変えてご確認ください。
- 本製品の工場出荷状態への初期化(下記)を行って、再度設定を行った上、ご確認ください。
- 接続するネットワーク機器の取扱説明書などに記載されている接続手順、トラブルシューティングをご確認ください。
- ご契約のケーブルテレビ事業者のサービス内容によっては使用できない場合があります。ご契約のサービス内容をご確認ください。

工場出荷時設定と初期化について

■工場出荷時設定	本製品の工場出荷時の初期値は下記の通りです。	
管理用IPアドレス	192.168.0.254	※「ユーザーID」、「パスワード」の初期値は、ご契約のケーブルテレビ事業者によって異なる場合があります。その際は、ケーブルテレビ事業者の指定した内容に従ってください。
サブネットマスク	255.255.255.0	
ユーザーID※	user	
パスワード※	本製品の側面にあるラベルに記載	

本製品とパソコンをLANケーブルで接続して、Webブラウザのアドレス欄に本製品の「管理用IPアドレス」を入力し、表示された画面に「ユーザーID」と「パスワード」を入力することでアクセスできます。「ユーザーID」と「パスワード」は半角英数記号を使用し、大文字・小文字を区別しますので、アクセスに失敗する場合はパソコンの設定を確認してください。

■初期化について
お客様で設定した「管理用IPアドレス」や「ユーザーID」、「パスワード」などを忘れてしまった場合には、本製品の工場出荷状態への初期化を行い、再度設定をやり直してください。本製品の電源を入れた状態で背面のRESETボタンを6秒以上押し続けると工場出荷状態に戻ります。工場出荷状態に初期化するとお客様で変更された内容がすべて失われますので、再設定を行う必要があります。

- お客様で本製品の「管理用IPアドレス」や「ユーザーID」、「パスワード」を変更された場合、変更後の値でのアクセスとなります。初期化を行うと、すべての値が工場出荷時に戻ります。
- 本製品のWeb画面の表示に異常がある場合、Webブラウザが対応していない可能性があります。この場合はWebブラウザの種類を変えて再実行してください。

Copyright © 2021 Sumitomo Electric Industries, LTD. All Right reserved.
-本紙の内容の一部または全部を許可なしに無断で転載することは禁止されています。
-本紙の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
-本製品を運用した結果、または本紙に記載されている情報から生じた影響については、責任を負いかねますので、ご了承ください。
-本紙の著作権は、住友電気工業株式会社に帰属しています。
Windows、Windows 8.1、Windows Phoneは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
Mac、macOS、OS X、AirMac、iPad、iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標または商標です。
iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
Android、Google レンズは、Google LLCの商標または登録商標です。
ニンテンドーDS、ニンテンドーDS Liteは任天堂の登録商標です。
本紙に記載されている製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
本紙ではTM、©、® などのマークは記載しておりません。

無線 LAN 対応 G-EPON ONU

BFW6022-BAL

ご利用にあたっての注意事項

Copyright©2021 Sumitomo Electric Industries, LTD.

- 本取扱説明書の内容の一部または全部を許可なしに無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品を運用した結果、または本書に記載されている情報から生じた影響については、責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書の著作権は、住友電気工業株式会社に帰属しています。

はじめに

このたびは、無線 LAN 対応 G-EPON ONU「BFW6022-BAL」（以下、本製品）をご使用いただきましてありがとうございます。

お使いになる前に、本製品の機能を十分にいかして正しくご利用いただくために、この取扱説明書を最後までよくお読みください。

お読みになったあとは、必ず大切に保存してください。

安全にお使いいただくために

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。

また、より確実に理解していただくために表示と図記号を添えて表現しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

 警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷 ^{*1} を負う可能性のあること」を示します。
 注意	「誤った取り扱いをすると、人が傷害 ^{*2} を負う可能性、または物的損害 ^{*3} のみが発生する可能性のあること」を示します。

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電をさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示する行為の強制（必ずやること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■ 免責事項について

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などについて、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■ 用途限定

本製品は、人の生命に直接かかわる装置^{*1}や人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置^{*2}などの制御に使用するよう設計・製造されたものではないため、それらの用途には使用しないでください。

*1：人の生命に直接関わる装置とは、次のものをさします。

- 生命維持装置や手術室用器具などの医療機器
- 有毒ガスなどの排ガス、排煙装置
- 消防法、建築基準法などの各種法令により設置が義務づけられている装置
- 上記に準ずる装置

*2：人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置とは、次のものをさします。

- 航空、鉄道、道路、海運などの交通管制装置
- 原子力発電所などの装置
- 上記に準ずる装置

■ Trademarks

本書に記載されている製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは記載していません。

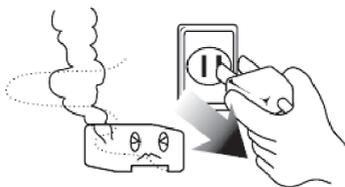
⚠ 警告

製品本体について

- 本製品や AC アダプタ・電源コードから異常な臭いがしたり、過熱・発煙・変色・損傷などがある場合には、ただちに電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を抜いて使用を中止してください
 - ・そのまま使うと、火災・故障の原因となります。「保守窓口」へ、点検を依頼してください。



電源プラグを
コンセントから抜く



- 光コネクタの発光部分を直接見ないでください



禁止

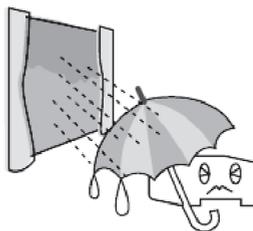
- ・ 本製品はクラス 1 レーザ製品です。直視した場合、目を傷める危険性があります。

- 雨、霧などが直接入り込むような場所では使わないでください

- ・ 雨、霧が付着して、火災、感電および故障の原因となります。



禁止



- 本製品は 0℃～40℃の環境で使用してください



強制指示

- ・ 火災、故障の原因となります。

- 電源コンセントはタコ足配線をしないでください



禁止

- ・ 発火の原因となったり、電源使用量がオーバーしてブレーカーが落ち、他の機器に影響を及ぼす可能性があります。

警告

製品本体について

●必ず、本製品付属の AC アダプタを使用してください



強制指示

- ・本製品付属以外の AC アダプタでは、電圧や (+) (-) の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発煙の原因となります。

●お客様で自身で修理、改造、分解をしないでください

- ・火災、感電、やけど、けがの原因となります。



分解禁止



●小さなお子様の手の届かないところに置いてください



強制指示

- ・ケーブルを首に巻きつけたりして、事故やけが、故障の原因となります。

●内部を開けないでください



禁止

- ・火災、感電、やけど、故障や誤作動の原因となります。

●本製品を落としたり、強い衝撃を与えたときは、ただちに、電源コンセントから電源プラグ (AC アダプタ) を抜いてください

- ・そのまま使うと、火災、発煙の原因となります。「保守窓口」へ、点検を依頼してください。



電源プラグを
コンセントから抜く



警告

製品本体について

- ビニール袋などの梱包材料は幼児の手の届かないところに保管してください



強制指示

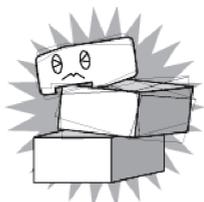
- ・ 口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息の原因となります。

- ぐらついた台の上や傾いた場所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。また、重ね置きをしないでください

- ・ 落ちたり、倒れたりしてけがおよび故障の原因となります。



禁止



- 本製品の上下に機器の重ね置きをしないでください



禁止

- ・ 各機器の発熱の影響が故障の原因となることがあります。

- 本製品内部にクリップなどの金属やコーヒーなどの液体を入れないでください

- ・ ショートによる火災、発煙および故障の原因となります。
- ・ 万一、入ったときは、ただちに、電源コンセントから電源プラグ（ACアダプタ）を抜いて「保守窓口」へ、点検を依頼してください。



禁止



- LANポートにLAN機器以外は接続しないでください



禁止

- ・ デジタル回線（ISDN）、電話回線などを接続すると火災、発煙および故障の原因となります。

⚠ 警告

AC アダプタについて

● AC コードを電源コンセントに抜き差しするときは、AC コードを持たずに AC アダプタのプラグを持って抜き差ししてください

- AC アダプタのプラグにほころぎがついていないことを確認し、根元まで確実に差し込んでください。また、ぐらぐらする電源コンセントは使用しないでください。感電やショートによる発火の原因となることがあります。また、プラグを抜く際、コンセント面に対して真直ぐに抜かないとコンセント内の刃受けばねの接触が弱くなり、やがて接触不良となり、発熱の原因となることがあります。



強制指示



● 付属の AC アダプタを、本製品以外には使用しないでください



禁止

- 火災、感電の原因となります。

● AC100V 以外の電源コンセントには、絶対に AC アダプタを差し込まないでください

- 入力電源条件に適合しない電源コンセントに接続しますと、火災、発煙および故障の原因となります。



強制指示



● 傷ついたり、破損したり、加工した電源コードは使わないでください

- 火災、感電、やけどの原因となります。



禁止



警告

AC アダプタについて

● 電源コードを取り扱うときは次の点を守ってください

- ・ 傷つけない
- ・ 無理に曲げない
- ・ 物を載せない
- ・ 加工しない
- ・ ねじらない
- ・ 加熱しない
- ・ ドアなどにはさまない
- ・ 机、家具などを載せてつぶさない
- ・ 釘やステーブルで固定しない
- ・ コードをつぎ足さない
- ・ 引っ張らない
- ・ 熱器具に近づけない



強制指示

守らないと、火災、感電、やけどの原因となります。

もし、電源コードが傷ついたときは、「保守窓口」へ、点検を依頼してください。

● お客様ご自身で AC アダプタの修理、改造、分解をしないでください



禁止

- ・ 火災、感電、やけど、けがの原因となります。

警告

無線通信について

- 付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性がある場所では、本製品の電源を切ってください



強制指示

- ・ 電波により、ペースメーカーの動作に影響する恐れがあります。

- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは、本製品を使用しないでください
また、医療用電気機器に近づけないでください



強制指示

- ・ 電波の影響で、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは、本製品の電源を切ってください



強制指示

- ・ 電波の影響で、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

- 本製品の使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、本製品の電源を切ってください



強制指示

- ・ 電波の影響で、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

⚠ 注意

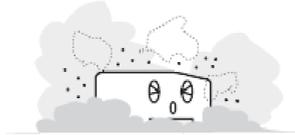
製品本体について

● ほこりの多い場所では使わないでください

- ほこりがたまると、ショートによる火災、発煙および故障の原因となります。



禁 止

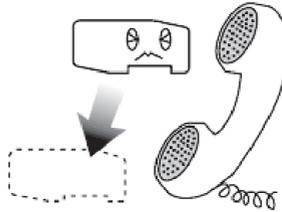


● 本製品を移設するときは「保守窓口」にご相談ください

- お客様が移設されますとけがをしたり、本製品が壊れたりすることがあります。



強制指示



● 近くに雷が発生する恐れがあるときは、AC アダプタおよび LAN ケーブルを抜いて、ご使用を控えてください



強制指示

- 故障の原因となります。

● 雷が鳴り出したら、AC アダプタや電源コードおよび本製品に触ったり、ケーブルの抜き差しをしないでください



禁 止

- 雷によっては、火災、感電および故障の原因となります。

⚠ 注意

製品本体について

● 使用範囲を超えた入力条件で使用しないでください



禁止

- ・ 機器の使用に定められている定格電源電圧、電気信号、光信号などの入力範囲を超えて使用すると、機器を破損させる原因となります。

● 本体を持ち運ぶときは、落とさないように注意して持ち運んでください。電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、接続ケーブルをすべてはずしてください



禁止

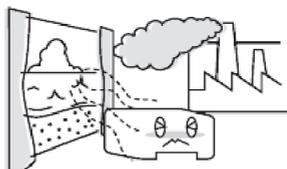
- ・ 本体とケーブル類に無理な力や衝撃が加わると、本体が落下しけがや故障の原因となります。

● 腐食性ガスや塩分を含んだ外気が直接侵入する場所では使わないでください

- ・ 発煙、故障の原因となります。



禁止

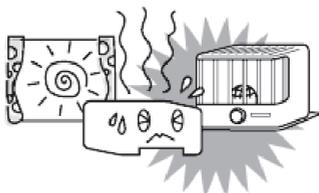


● 本製品や AC アダプタに布団をかけたり、直接日光の当たる場所、コタツの中、暖房器具の近くなどの温度の高い場所には置かないでください

- ・ 本製品内部の温度が上がり火災および故障の原因となります。



禁止



⚠ 注意

製品本体について

● じゅうたん、布団、毛布、ベッドの上では使用しないでください

- 本製品内部の温度が上がり火災および故障の原因となります。



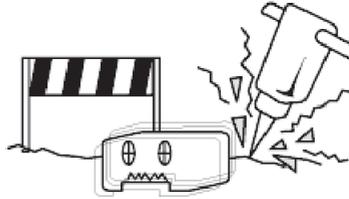
禁 止

● 振動の多い場所に置かないでください

- 動いたり、倒れたりしてけがおよび故障の原因となります。



禁 止



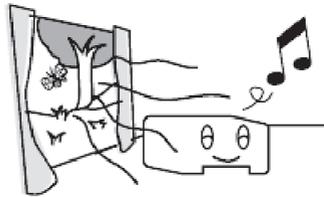
● 風通しの良い場所に置いてください

- 本製品の通風口をふさいだり、布団や毛布などで包んだり、個装箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください。

本製品の発する熱がこもりやすい場所に置くと、本製品内部の温度が上がり火災および故障の原因となります。



強制指示



● 風呂場などの水分や湿気が多い場所、および窓際など結露の恐れのある場所の近くでは使用しないでください



禁 止

- 水分や水滴などが付着または本製品内部に浸入し、火災、感電および故障の原因となります。

注意

製品本体について

- 本製品や電源コードを熱器具に近づけないでください



禁止

・ キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となります。

- 近くに紙などの燃えやすいものを置かないでください



禁止

・ 発熱により火災の原因となります。

- 通風口をふさがないように、前後左右および上部を各 10cm 以上あけてください



強制指示

・ 本製品の内部に熱がこもり、火災の原因となります。

- 内部を開けないでください



禁止

・ 故障や誤動作の原因となります。

- 本製品に乗らないでください。また、小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところに置いてください。本製品には小さな付属品が含まれています。小さなお子様飲み込んだりしないようにしてください



禁止

・ ケーブルを首に巻きつけたりして、事故やけが、故障の原因となります。

- 本製品の上に物を載せたり、物を落としたりしないでください



禁止

・ 故障の原因となります。
・ 破損して、けがの原因となります。

注意

製品本体について

- お手入れをするときは、安全のため必ず電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を抜いてください



強制指示

- ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください



禁止

- ・ 変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよく絞って汚れを拭き取り、やわらかい布でから拭きしてください。

- 電源を再投入する場合、必ず電源コンセントから電源プラグ（AC アダプタ）を外した状態で 10 秒以上おいてから電源を入れてください



強制指示

- ・ 誤動作や故障の原因となることがあります。

- ケーブル類の敷設に配慮してください



禁止

- ・ 光ケーブルは折り曲げたり、無理に引っ張る、ねじるなどしないでください。
- ・ 光ケーブルを曲げる際は、必ず直径 60mm 以上となるようにしてください。

- 電気製品・AV 機器・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください
（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）



禁止

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると通信できなくなることがあります。
- ・ テレビ画面が乱れることがあります。

- 本製品や AC アダプタを樹脂製のものやビニールコーティングされたもの、熱に弱いものの近くに設置しないでください



禁止

- ・ 本製品や AC アダプタ、近くに設置したものが変形・変色・損傷する場合があります。

注意

製品本体について

● 温度差の大きい場所へ移動させたら、すぐには使用しないでください



禁 止

- 本製品を寒い所から急に暖かな所へ移動させたときは、本製品内部に結露が生じ、故障の原因となります。万一結露した場合は、電源を切った状態で放置し、完全に乾燥させてから電源を入れてください。

● 殺虫剤など、揮発性のある薬品をかけないでください



禁 止

- 火災や故障の原因となります。

● 屋外には設置しないでください



禁 止

- 屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。

● 梱包箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください



禁 止

- 本製品内部の温度が上がり、故障や発火の原因となります。

⚠ 注意

AC アダプタの取り扱いについて

- 電源プラグ (AC アダプタ) を AC100V コンセントに差し込むときは、まっすぐに、奥まで確実に差し込んでください



強制指示

- ・ 確実に差し込んでいないと、火災、感電の原因となります。

- 長期間で使用にならないときは、電源プラグ (AC アダプタ) を電源コンセントから抜いてください



強制指示

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください



禁止

- ・ タコ足配線にするとコンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。

- 本製品を使用中に AC コードを外さないでください。また、AC コードに足などを引っ掛けないでください



禁止

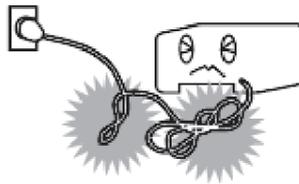
- ・ 使用中に AC コードが抜けると、設定中の情報を失うことがあります。

- 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、またコードの上に重い物を載せたりしないでください

- ・ ショート、断線による火災、感電の原因となります。



禁止



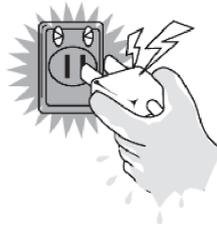
⚠ 注意

AC アダプタの取り扱いについて

- 濡れた手で、電源プラグ（AC アダプタ）を抜き差ししないでください
 - ・ 感電の原因となります。



禁 止



-
- 半年から 1 年に 1 回は AC コードを電源コンセントから抜いて、点検、清掃を行ってください。プラグにほこりがたまっているときは、すぐに電源コンセントからプラグを抜いて点検、清掃を行ってください



強制指示

- ・ 火災、感電の原因となります。

無線通信の電波に関するご注意

●本製品は、技術基準適合証明を受けています。

本製品の無線通信で使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・化学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1) 本製品の無線通信を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または、電波の発射を停止したうえ、混信回避のための処置についてご契約された事業者にご相談ください。
- 3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた際は、ご契約された事業者にお問い合わせください。

次の記載は、本製品の IEEE802.11b/g/n 無線通信に関する「2.4GHz 帯の使用・変調方式・想定干渉距離・周波数変更の可否」を表します。

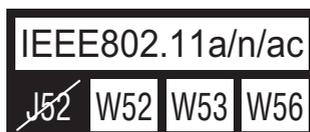
2.4DS/OF4

(表示)	(表示の意味)
2.4	2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF	変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。
4	想定干渉距離が 40m 以下を表します。
■■■	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

無線通信の電波に関するご注意

- 電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮断された部屋などでは、ご使用にならないでください。
 - ・ 使用環境により、電波が届かない場合があります。
 - ・ 無線通信の伝播距離や接続速度は、使用環境によって大きく変動します。
- 本製品は、IEEE802.11a/n/ac の 34/38/42/46 チャンネル (J52) での通信には対応していません。
- 本製品を W52、W53 で使用する場合、屋外での使用は法令により禁止されています。(登録局との通信を除く)

次の記載は、本製品の IEEE802.11a/n/ac 無線通信に関する「5.xGHz 帯の対応仕様」を表します。



(表示)	(周波数)	(表示の意味)
J52	5.2GHz 帯	34/38/42/46 チャンネルに未対応
W52	5.2GHz 帯	36/40/44/48 チャンネルに対応
W53	5.3GHz 帯	52/56/60/64 チャンネルに対応
W56	5.6GHz 帯	100/104/108/112/116/120/124/128/132/ 136/140 チャンネルに対応

無線 LAN のセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意のある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウイルスなどを流してデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性が少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本製品を使用することをお奨めします。本製品の工場出荷状態では WPA2-PSK のセキュリティが設定されています。

・電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

・仕様について

本製品の仕様は、日本国内向けです。
AC100V 以外では使用しないでください。
また、本製品は屋内専用です。

・取り扱いについて

本製品は、特別管理産業廃棄物に該当します。本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

本製品は、「外国為替法及び外国貿易法」に基づく輸出規制品に該当するため、日本国外への輸出に関しては法人・個人を問わず経済産業大臣の許可が必要です。
さらに本製品には、米国輸出管理規制の規制を受けた製品が組み込まれており、米国政府の許可もあわせて必要になります。

本製品は、国外（海外）では使用できません。日本以外の規格に適合しておらず、使用する地域の法令・規格に違反する可能性があります。

GPL・LGPL について

本製品に格納されているプログラムには、GNU General Public License (GPL) (または GNU Lesser Public License (LGPL)) にもとづきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

本製品に格納されているプログラムで上記ライセンスが適用されるオープンソースソフトウェアのソースコードはご要望に応じて媒体提供いたします。ただし下記の点をあらかじめご了承ください。

- ソースコードの内容などについてのご質問には一切お答えできません。
- 提供されたソースコードにより作成されるプログラムについては一切の保証をいたしません。
- 媒体提供の際には別途実費を申し受ける場合があります。
- ソースコードの提供期間は本製品の生産打ち切り後、概ね 3 年とさせていただきます。

媒体提供をご希望される場合は、「BFW6022-BAL」の媒体提供である旨を明記の上、下記までお問合せください。

gpl-1908@info.sei.co.jp
株式会社ブロードネットマックス
GPL 関連窓口

2021年 3月 15日

A版発行 DEK20014A

発行



住友電気工業株式会社

〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川

